

# 平成22年度の取組について (相談支援の有効性を確立するために)

平成22年3月24日

三条市地域自立支援協議会  
連絡調整会議

# 1 連絡調整会議における今年度の取組

## 1 連絡調整会議が主体となった協議会運営に向けて

### ・取り組むべき課題の設定

昨年度抽出した課題からピックアップ！

昨年度の連絡調整会議において抽出された地域の課題	
1 個別支援会議の普及	6 広域社会資源マップの作成
2 相談支援事業の広報	7 医療機関との連携
3 居宅介護サービスの平準化	8 グループホームの適応困難者の支援
<b>4 日中一時支援サービスの確保</b>	9 移動支援、送迎サービスの充実
5 事業者と利用者の役割分担	10 障がいに対する住民の理解

### ・課題を巡る現状の把握

市内の日中一時支援、児童デイサービスの事業所に対するヒアリングを実施

(H21. 7. 16)

## 2 相談支援事業の充実に向けて

### ・サービス事業所との関係構築

春休みの需要期を控え、利用調整の円滑化を目的に、市内の日中一時支援、児童デイサービスの各事業所との情報交換会を実施。（H22. 2. 10）

### 取組から見えてきたこと

- ・事業所数が少ないわりに、事業所間、職員間のつながりが薄い。
- ・サービス事業所も、相談支援事業所がどのような動きをしているか知らない。

このような状況で、連絡調整会議（4人の相談支援専門員と、市の担当者）のみで三条市の地域課題を把握することには限界がある。

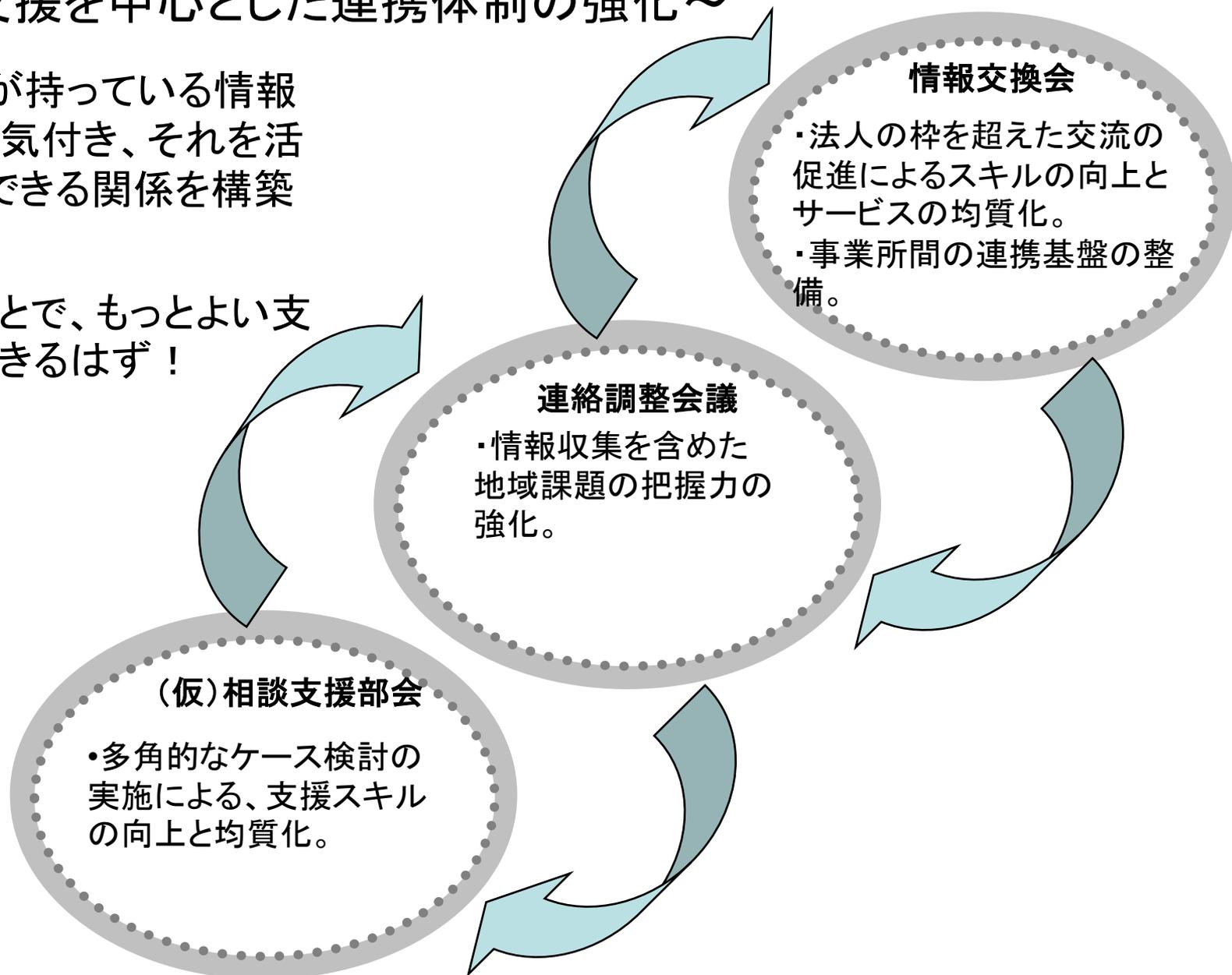
しかも、**処遇困難**なケースが増えている中で、支援スキルの向上も図っていく必要がある。  
 **発想を変えて、より多くの人力を借りてみよう！**

## 2 平成22年度の取組

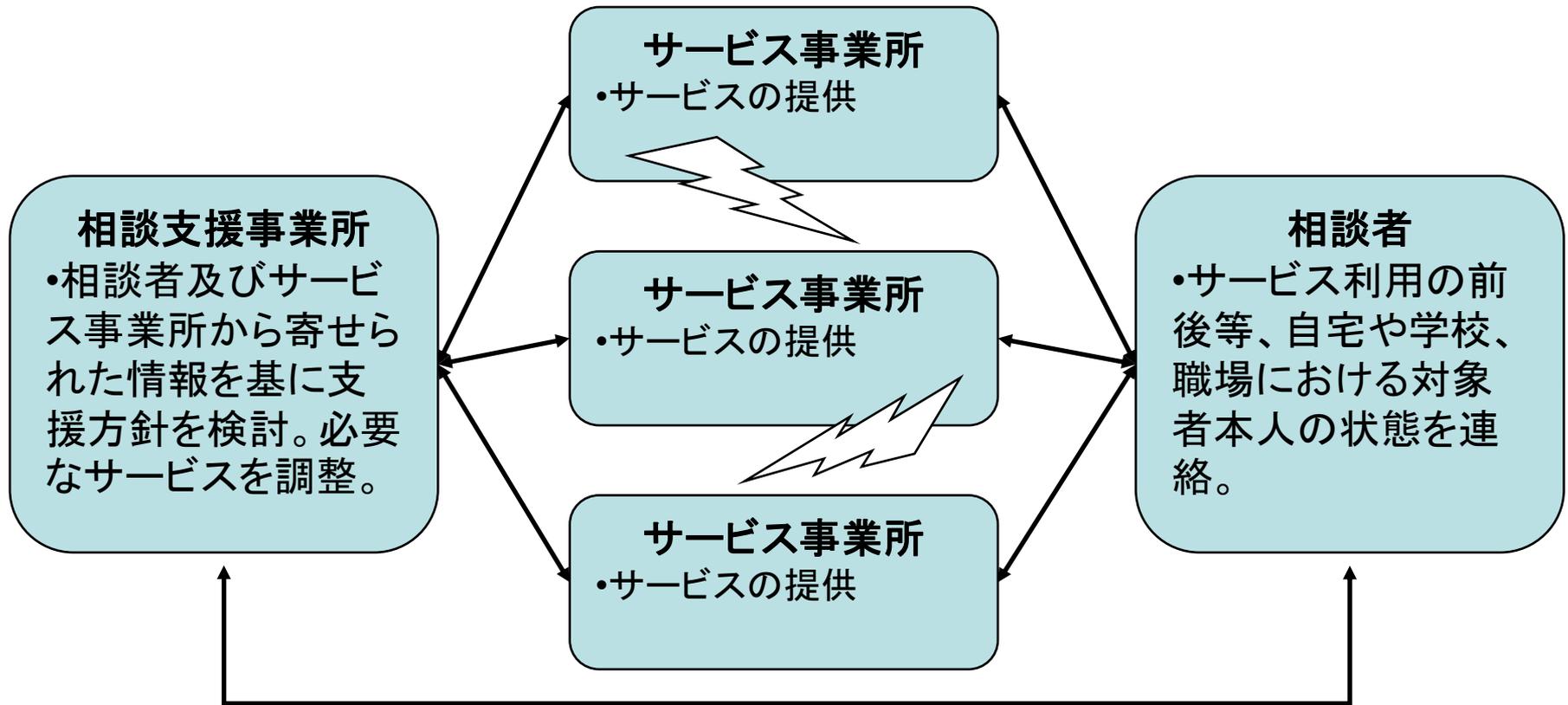
### ～相談支援を中心とした連携体制の強化～

それぞれが持っている情報の有効性に気付き、それを活かすことのできる関係を構築する！

そうすることで、もっとよい支援が展開できるはず！

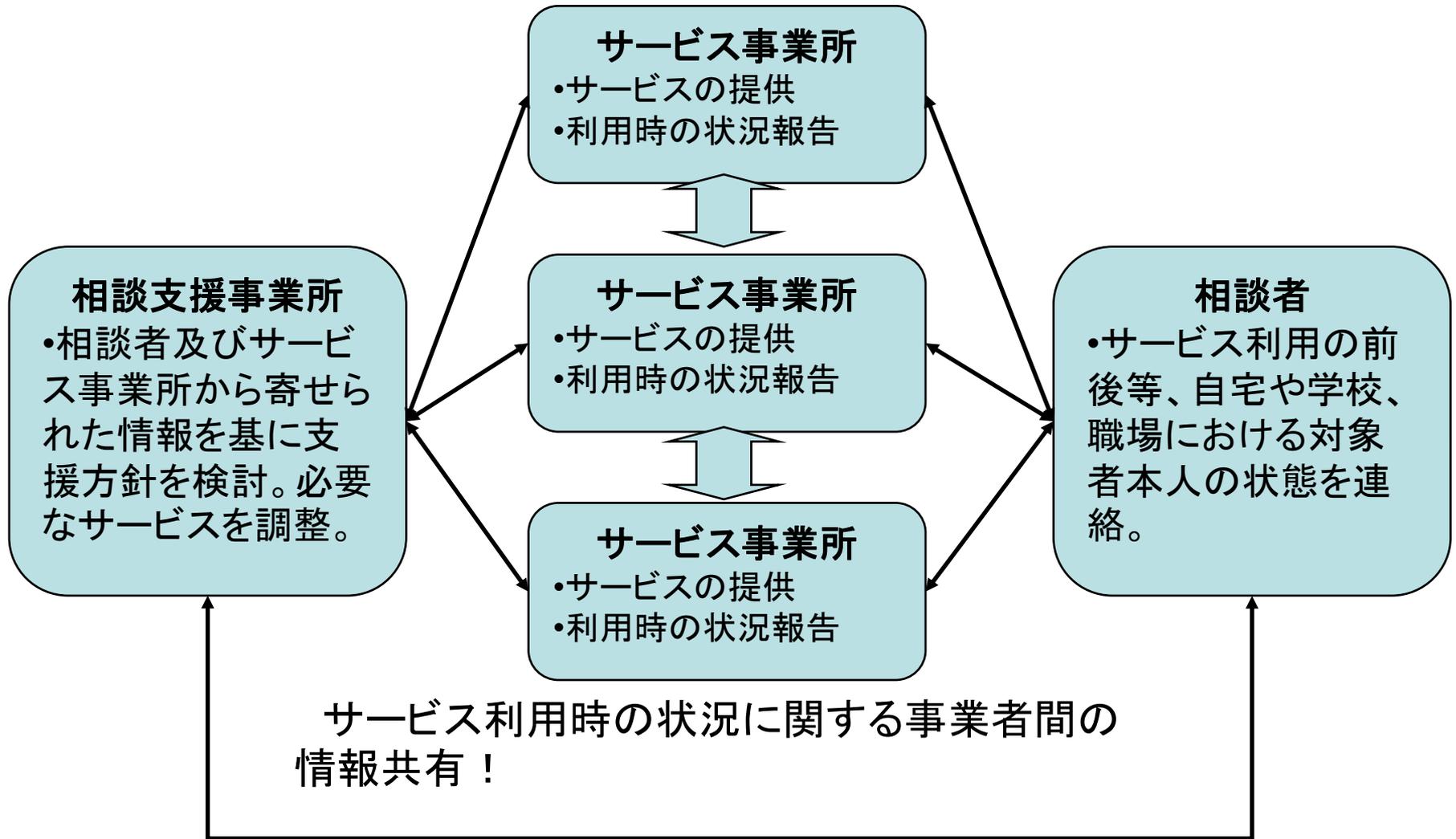


# サービス事業所間の連携の必要性



リレー的に複数の事業所を利用することが日常的になった現在、サービス利用時の状況に関する事業所間の情報共有が不可欠となっている。

求められているのは、対象者の生活サイクルを意識した支援の展開！



「相談」と「サービス提供」が一体となった支援の展開

### 3 平成22年度地域自立支援協議会スケジュール (案)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自立支援協議会全体会						○						○
連絡調整会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
相談支援部会(仮称)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事業所情報交換会	○※						○※				○※	